

【女性限定】兵庫県立大学大学院工学研究科 教員（専任）公募要領

本学は積極的にダイバーシティの推進に努めており、多様な人材の採用に努めております。

男女雇用機会均等法第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）に基づき、工学研究科では女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するため、女性限定公募を実施します。

- 1 募集人員： 5名
- 2 所属： 工学研究科
- 3 研究分野： 電気工学（准教授）、システム・制御工学（准教授）、知能情報工学（助教または助手）、流体工学（教授）、機械工学における固体物質（助教または助手）、金属材料学（教授）、無機材料化学（准教授）、反応・エネルギー工学（教授）

電気工学（准教授）

グリーントランスフォーメーション（GX）に欠かせない電気エネルギーの発生・輸送・利用・蓄積に貢献する電気工学分野を拡充するために幅広い分野（例えば、電気回路・機器、電気物理、電磁工学、再生可能エネルギー、生体医工学、材料、計測などに関する先端研究分野）からの募集を行います。

システム・制御工学（准教授）

グリーントランスフォーメーション（GX）において重要な電気電子システムやエネルギーシステムの高度化・高効率化のためのサイバーフィジカルテクノロジーの基盤となるシステム・制御工学分野を強化・拡充するために、動的システムの解析、設計、制御やデータ駆動技術、最適化、機械学習などの先端研究分野に携わる准教授を広く募集します。

知能情報工学（助教または助手）

知能情報工学は、デジタルトランスフォーメーション(DX)において必須とされる「サイバー空間とフィジカル空間の融合」、すなわち現実空間における事象を仮想空間に取り込み計算機により整理・分析することを大きく進展させる技術です。そこで、実世界指向の知能情報工学分野である AI・ヒューマンインタフェース・知能ロボティクス・デザイン工学・コンピュータビジョンなどの幅広い領域における研究課題を重視します。

流体工学（教授）

流体工学は計算科学、医療、環境、バイオテクノロジーなど、多くの産業分野の発展に貢献する極めて重要な分野です。機械工学の基幹学問分野としての流体工学教育を担い、さらに流体工学分野の研究リーダーとして、新たな可能性に挑戦できる人物を募集します。

機械工学で固体物質を対象とする研究分野（助教または助手）

機械工学の発展には材料の発展が不可欠であり、従来は機械材料がこの役割を担っていましたが、さらに樹脂材料や生体材料などの広い範囲に研究対象を広げるため、分野横断的な広範囲な知識を有した人物を募集します。なお、鉄鋼だけでなく、他材料などを専門とする分野も積極的に採用対象とします。さらに研究アプローチとして、シミュレーションもこの分野に含めます。

金属材料学（教授）

金属材料学分野は、マテリアル/ものづくりの中心の一つであり、技術革新の基盤を構築し地域基幹産業の発展を担う人材育成の観点からも極めて重要な分野です。構造材料、特に鉄鋼材料を対象とし、革新素材創製を目指したものづくり技術、加工技術、特性評価技術に関する教育と研究に携

われます。

無機材料化学（准教授）

持続可能なエネルギーを基盤としたサステナブル社会の実現は現代社会の最重要課題の一つであり、我々はそれに向けて新規無機材料の開発あるいは改良に取り組む必要があります。そこで本件では無機材料化学分野を推進できる准教授を公募します。

反応・エネルギー工学（教授）

カーボンニュートラル実現に向けて、水素製造や利用、CO₂回収・固定、排熱回収などにおいてブレークスルーが必要ですが、このためには、従来の熱化学反応に加えて光や電気等をエネルギー源とする新たな反応場の構築や高効率化が求められています。このような次世代エネルギー関連物質やその製造プロセスを扱う分野である反応・エネルギー工学を基盤としてGXとSDGs推進のための研究・教育を強化・先導しうる教授を公募します。

4 教 育：下記以外にもその他関連分野を担当する場合あり

電気工学（准教授）

大学院<博士前期>：電気物性工学関連科目、電気物性工学特別実験、電気物性工学特別演習

<博士後期>：電力・エネルギー工学講究、電気工学セミナー

学 部：電気工学基礎科目（電気回路、データサイエンス関連科目等）、電気工学
専門科目、電気工学実験

システム・制御（准教授）

大学院<博士前期>：電気物性工学関連科目、電気物性工学特別実験、電気物性工学特別演習

<博士後期>：電力・エネルギー工学講究、電気工学セミナー

学 部：電気電子工学基礎科目（電気回路、データサイエンス関連科目等）、電気電
子工学専門科目、電気工学実験

知能情報工学（助教または助手）

大学院<博士前期>：電子情報工学特別実験、電子情報工学特別演習

学 部：情報工学実験、プログラミング演習、コンピュータ実習、実験英語、卒業
研究

流体工学（教授）

大学院<博士前期>：機械工学関連科目、機械工学特別演習

<博士後期>：機械工学講究、機械工学セミナー

学 部：力学、機械工作実習などの専門基礎科目、流体力学、設計製図、創造設計
演習などの専門教育科目、機械工学演習、卒業研究

機械工学で固体物質を対象とする研究分野（助教または助手）

大学院<博士前期>：機械工学特別演習

学 部：機械工作実習などの専門基礎科目、機械工学実験や設計製図などの関連科
目、卒業研究

金属材料学（教授）

大学院<博士前期>：材料強度物性学

<博士後期>：材料組織・設計学セミナー、加工システム学講究

学 部 : 基礎材料工学、材料強度学、機械・材料工学概論、卒業研究
無機材料化学 (准教授)

大学院<博士前期> : 無機材料化学関連科目、応用化学演習

<博士後期> : 応用化学講究

学 部 : 無機化学、電気化学、化学実験、卒業研究

反応・エネルギー工学 (教授)

大学院<博士前期> : 熱化学、物質エネルギー工学特別講義

<博士後期> : 材料製造学セミナー

学 部 : 物理化学、化学熱力学、化学工学実験、科学英語、卒業研究

5 応募資格 :

- (a) 女性に限る。
- (b) 上記専門分野の教育と研究に熱意と意欲をお持ちの方。教授/准教授/助教に応募の場合は、着任時に博士の学位を有する、若しくは博士取得見込みであること。助手に応募の場合は、着任時に修士の学位を有する、若しくは修士取得見込みであること。
- (c) 国籍は問わない。ただし、学内の諸業務の遂行が可能な日本語能力を有すること。
- (d) 英語講義が可能な英語能力を有すること。

6 着任時期 : 令和6年4月1日

7 提出書類 :

- (a) 送り状 : 応募する研究分野と職階を明記すること。
- (b) 履歴書 (写真添付、学歴は高校卒業以降、職歴、賞罰等) : 様式1
- (c) 研究業績 (著書、論文等) : 様式2および主要論文別刷り (教授/准教授5編まで、助教/助手3編まで)
- (d) 教育歴および学会・社会における活動 : 様式3
- (e) これまでの主要な研究概要 : 様式4 (教授/准教授 : 2000字程度、助教/助手 : 1000字程度) 図、写真、表 (文字数に含めず) などを用いてもよい
- (f) 教育・研究への抱負 : 様式5 (教授/准教授 : 2000字程度、助教/助手 : 1000字程度) 図、写真、表 (文字数に含めず) などを用いてもよい
- (g) 推薦書 (書式自由) 1通

※所属長又は応募者の専門分野についての所見を求め得る方が作成したものに限りません。

なお、推薦書には推薦者の氏名及び連絡先を記載してください。応募者もしくは推薦者が下記送付先まで簡易書留で郵送、もしくは問い合わせ先E-mailアドレスまでメール送付下さい。

(送付先)

〒671-2280 兵庫県姫路市書写2167

兵庫県立大学姫路工学キャンパス 総務課気付

大学院工学研究科長 藤沢 浩訓

8 応募締切 : 令和5年6月30日 (金) (必着)

9 選考方法 : 書類選考の後、面接 (教授/准教授は模擬授業含む) を実施します。

10 応募書類提出先

(a) web提出 (JREC-IN経由)

JREC-IN の Web 応募機能より全ての提出書類を 1 つの PDF ファイルにまとめて提出ください。

(b) e-mail提出 (添付ファイル, ファイル転送サービスなど)

タイトルを「分野名・職階応募 (例: 電子工学・助教応募)」とし、下記問い合わせメールアドレスに送付して下さい。NII file sender を利用するなどセキュリティの確保は応募者自身でお願いします。

11 問い合わせ先:

工学研究科長 藤沢 浩訓

TEL:079-267-4802 (直通)

E-mail: koubo_eng@eng.u-hyogo.ac.jp

※公募のURL: <http://www.eng.u-hyogo.ac.jp/outline/koubo/index.html>

12 その他:

- (a) 採用教員の所属専攻については、固定的なものではなく、組織再編等により変更される可能性があります。
- (b) 助教の任期は5年です。再任は原則1回とし、再任後の任期は5年とします。ただし、優秀な業績・能力を有する者については、再任後学内の選考により講師 (任期無し) に昇任できる制度があります。
- (c) 助手の任期は5年です。再任は原則1回とし、再任後の任期は5年とします。博士号取得後、学内選考により、助教 (任期有り) に昇任できる制度があります。